

伊藤信之先生から→信原克哉先生へ 1993年 6月 23日

先日の日整会では大変お世話になりました。いつも先生の思慮深いお考えに敬服しております。小生は先生に一步でも近づこうと思っておりますが、どんどん遠くなっているのではと考えることがあります。肩学会の国際委員会のまとめの議事録を委員のかたにお送りしましたが、あれでよかったですでしょうか。

10月に長崎で肩学会が開かれます。当方、少しずつ準備を行っておりますが、アジアのかたが来られるのが楽しみです。日本肩がアジア肩に発展してゆくことも楽しみにしております。長崎はつつじが咲いて、そろそろ5月の感じですが、海では魚が刺身になりたいと待っています。今度の日曜日には釣りにゆこうかなと考えております。

信原克哉先生から→伊藤狂四郎へ 1993年 6月 15日

オフィスではいろいろご苦労さまでした。先生と楽しく過ごせたことを感謝しています。帰ってみると心のこもったおいしい果物が届けられていました。有難うございました。学会運営は大変ですが、よろしく願います。お手伝いできることがあれば遠慮なくお申し付けください。

帰国早々ですが、アジア肩関節学会設立委員会への招待状作成にとりかかっています。先生の手間を省くために、それに日本肩関節学会からの正式招待状を添えたいと思っております。渡航費、国内交通費と宿泊費は私が用意しますので、長崎での宿泊費、会議のための部屋、hospitalityをご用意くだされば幸いです。